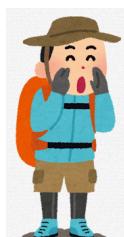




# 休日OK ほかごOK 授業OK ちがくきょうどう通信

2026年  
3月発行

こんにちは。「ちがくきょうどう通信」です！厳しかった冬も終わりに差し掛かり、新年度も見てくる時期となりました。地域の皆様の協力のもと、今年度もたくさん子どもたちに貴重な体験・活動を提供することができました。今回は、来年度の事業に関する内容に加え、活動事例をご紹介します。是非、来年度の活動に向けお役立ていただければ幸いです。



**令和8年度の申請が始まります！！**

- ☆申請手続きは2ステップ！
  - ①「地域学校協働活動推進員」の委嘱  
⇒校長名で「推薦書」をご提出ください。
  - ②「地域学校協働本部」名での申請  
⇒「申請書 兼 運営計画書」や「予算書」を提出してください。
- 以上で申請は終了となります！



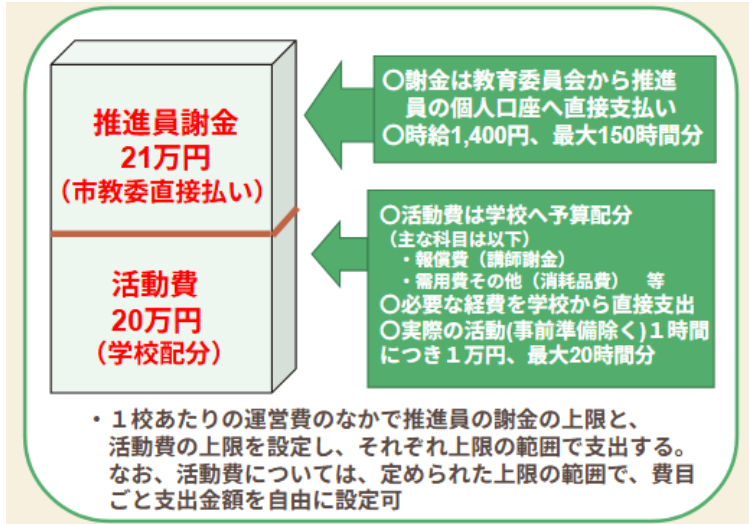
## Q 地域学校協働活動推進員は どんな人をお願いしたい？

地域と学校の連絡調整や情報共有、活動の企画運営、地域と学校をつなぐ役割を担っていただくことを考えると、地域に信頼のある方や「学校や地域を理解し、応援してくれる人」が相応しいと考えられます。

- ・元教職員
- ・学運協委員
- ・現・元PTA
- ・学びのサポーター
- ・スクールガード 等

新たに探すのではなく、「元々」あったつながら探すのも一つかもしれません。

## Q 予算の仕組みは？



## Q どんな活動が地学協働になるんだろう？

基本的には学校の児童生徒を対象としますが、内容次第では保護者や地域住民、近隣校の児童生徒も含めることができます。判断に悩む場合はご連絡ください。

例)教育課程内  
地域人材や外部企業を講師とし、各種調整を推進員が行うキャリア教育や職場体験 等

例)教育課程外  
地域の学生等の住民を指導員とし、各種調整を推進員が行う放課後学習教室 等



実際の活動については裏面でご紹介します！



## みなしろマイスター (南白石小)

### 放課後の児童預かり



※画像は一部加工を施しています。

南白石小学校は、元PTA会長や地域の町内会長の方々をコーディネーターとして、活動を実施しています。

ご紹介する活動は、「放課後の児童預かり」。参観日後の学級懇談時に、学校のフリールームで、地域の方々が、子どもたちと一緒にカードゲームやボードゲームを使って遊びながら時間を過ごす活動です。地域の方々が見守る中、子どもたちは楽しそうに遊んでいました。コーディネーターを中心とする地域ボランティアは、子どもたちとコミュニケーションを取りながら受付や備品の貸出を行い、終始和やかな雰囲気でした。

本活動は特段目立った周知をしていないものの、普段から登下校の見守り、学校での講話を行っているコーディネーターの関わりもあって、自然と取組が浸透し利用者が集まっています。

このように学校と地域が無理なく関わり合える、互いが緩やかにつながって続いていく姿勢が大切であるように思いました。



※画像は一部加工を施しています。

## 幌北小学校地域学校協働本部 (幌北小)

### ふれあい オリエンテーリング

幌北小は、元教職員であり同校の学校評議員を務める方を地域学校協働活動推進員として、活動を実施しています。

ご紹介する活動は、「ふれあいオリエンテーリング」。子どもたちが、全校での縦割りグループを組み、北海道大学キャンパスのチェックポイントを巡る、オリエンテーリング形式での遠足です。子どもたちは、広大なキャンパス内に配置されたチェックポイントごとに用意されたゲームを楽しみ、野外体験を満喫していました。

推進員が、北区地域振興課や大学ボランティア等と調整し、活動を発展させつつ担い手を確保することで、継続的な活動を可能にしています。

本活動のような大学キャンパスに限らずとも、学校近隣の公園や遠足先等で、地域の力を借りて野外での体験活動を行うのも大変良いものかもしれません。



テとテとテつほく  
(手稲鉄北小)

福祉の授業



※画像は一部加工を施しています。

手稲鉄北小は、近隣地域で活動するNPOの代表を地域学校協働活動推進員とし、令和6年度から地学協働を開始しました。

ご紹介する活動は、「福祉の授業」。5年生の総合学習の時間に、車いすを利用している方を講師とした出前授業を行いました。授業では、地域の医療法人の職員と講師の講話や両名から出題されるクイズを通じて、子どもたちが障がいのある方の暮らしについて学びました。

「子どもたちが車いす利用者の方と接する機会を作りたい」という学校側のニーズを受け、推進員が自身の地域ネットワークを活かして、医療法人や講師と円滑に調整を行いました。推進員が窓口となり外部との橋渡しを担うことで、学校の負担を軽減しながら、授業の質の向上につながりました。

学校や子どもたちが抱えるニーズを、推進員を中心に地域と共有することで、今ある取組をより良いものにしていくというのも大事だと感じました。



※画像は一部加工を施しています。

ノホロの丘小学校地域学校協働活動本部  
(ノホロの丘小)

餅つき大会

ノホロの丘小は、地域のまちづくり団体やPTAが地域学校協働活動推進員となり、令和6年度より地学協働を実施しています。

ご紹介する活動は、「餅つき大会」。地域行事の餅つきを学校の体育館で開催したものです。当日は、校種を問わず地域の子どもたちや大人たちが集まり、成形や味付けを地域の方々と一緒にを行い、出来上がったお餅も皆で食べることで一体感のある活動となりました。活動には総勢200名以上が参加し大盛り上がりとなったようです。

日頃からまちづくりのために地域に深く関わっている推進員が、PTAや児童会館、民生・児童委員等と連携したことで、大規模での開催を可能としています。また、近隣の上野幌中吹奏楽部の演奏会も同時開催されるなど、パートナー校としての取組も見られました。

その他にも、5月の地学協での運動会等、地域と学校で連携した行事もあり、自然と地域が学校に目を向ける機会となっているのも、大切なことであると感じました。

今回ご紹介した他にも、過去の事務通信や他校の活動実績を市のHPに掲載しております！  
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/renke/saturday/index.html>  
令和8年度も、地学協働をよろしく願いいたします！